

2014年度 法科大学院
第2回 既修者入学試験問題
3時限
刑法(論文式)
試験時間 60分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

Xは、Yを誘ってドライブに出かけた。Xが、自己の所有に係る普通乗用自動車を運転し、Yは、助手席に座って、車内で会話をしながら運行を継続していたが、Xは右折するために、ある交差点の手前で信号にしたがって停車した。その際、Xは、自車の側方の車道を歩行中のVを認め、Vに対して危険回避を促すために、クラクションを数回、鳴らした。

そうしたところ、Vは、Xがクラクションを鳴らしたことに激怒し、Xの自動車に更に接近した上で「今のクラクションはなんだ。降りてこい。殺してやる。」と大声をあげながら、同車の右側（運転手側）窓ガラスを飲料水用のペットボトルでなぐりつけ、ドアを開けてXを引きずり出そうとした。

XとYは、このVの行動に驚き、かつ、恐れをなした。Yは、助手席から、Vの行動を見ていたが、Xに対して「さっさと車を発進させて、この場を離れよう。」と提案したところ、Xは、これに無言で頷いた。

そしてXは、信号が（右折方向に向かって）青色に変わるや否や、一気にアクセルを踏み右折を開始した。Vは、同車のドアノブをつかんでいたが、この急発進によりアスファルト路面に打ち付けられた上、同車に巻き込まれて轢かれ、その場で出血多量により死亡した。

捜査の結果、急発時には、Xの自動車は、時速約40キロメートル毎時に至っていたこと、および、Vが横断歩道を使わず、車道を歩いていたことが判明している。

設 問

上記の事例におけるX、Yの罪責について論じなさい（特別法違反の点は除く）。

（解答は全て解答用紙に記入すること）